



学校だより

おっひ

半田市立乙川東小学校

第10号

令和3年12月23日

発行責任者：福島 富美

校訓 たくましく 心ゆたかに 大きくのびよう

失敗は成功のもと

先日、5年生が、地域の方にご協力をいただき、「しめ縄作り」をしました。ずいぶん前から手間をかけて準備していただいた藁は、芯を抜いた上で霧吹きで湿らせ扱いやすくしていただいていたありました。それでも、藁の束を3つに分けて、ねじりながら藁を重ねていくのは至難の業。力もいりますし、何よりも、根元を押さえる手、3束の藁を持つ手、藁を縛っていく手・・・、手が足りない！私も悪戦苦闘して仕上げました。

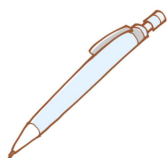
子どもたちも、始まると同時に「分かん。」「どうやるの？」とあちこちで声が上がりました。学習サポーターの方がお手伝いに来てくださいましたが、しめ縄作りに精通された地域の方はお2人。手取り足取りとはいきません。しかし、しばらくすると助けを呼ぶ声は少なくなり、足を上手に使って器用に縛う子や、友達と協力し合う子が出始めました。そして、時間が終わる頃には、全員、個性的なしめ縄を仕上げました。

この「しめ縄作り」では、子どもたちの何回も何回もやり直している姿がたくさん見られました。縛い方が緩い、ねじりが甘い、束の長さが極端に違ってしまった・・・、そのたびに、「できてるよ。これでいいよ。」という大人の言葉は耳に入らないのか、初めからやり直す子どもたち。そうやってやり直しを繰り返すうちに、藁がいい感じに柔らかくなり、そして、片方の手で2束持ったり足で加減良く押さえたりする技も身につけ満足いく作品を仕上げていきました。

「失敗は成功のもと」とよく言われますが、まさに、失敗から学び、成功を自らの力でつかんだ子どもたち。その充実感は大きく、自信にもつながったと思います。ふと、日頃の子どもたちへの接し方を振り返りました。果たして、私たちは子どもたちが安心して失敗する機会や時間を与えているのだろうか。失敗させないように、事前に準備を重ね、手取り足取り教え、失敗せずにできたと拍手することに偏ってはいないだろうか。

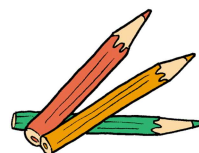
キレイやすい・すぐあきらめる・意欲がない、など様々な子どもたちの問題が言われていますが、その解決には、もしかしたら失敗を恐れる大人側の考えや行動を変えていく必要があるのではないか、と考えさせられました。

乙東っ子の 乙東っ子による 乙東っ子のための 活動 その3



6年生の子どもたちの「シャープペンシルの方が書きやすいから使いたい。」という声から、6年生を中心にアンケートをとったり、先生たちに意見を聞いたりして、学校でのシャープペンシル使用について子どもたちが進めています。代表委員会にも提案して、話し合いをしています。

校長室にも、6年生が意見を聞きにやってきました。「学校でシャープペンシルを使うことをどう思いますか。」「もし使ったら、どんなルールがいますか。」子どもたちや先生の意見をまとめて3学期の代表委員会に再度提案し、来年度からの実施を目ざすそうです。自分たちの生活をより良くするために動き出しています。楽しみです。



終業式

「2学期にがんばったこと」の発表

☆終業式に、体育館のステージ上で発表しました。2学期は、3・4年生が体育館で聞き、1・2・5・6年生の教室とはオンラインでつなぎました。

がんばったとびばこ

1ねん さかね あんな

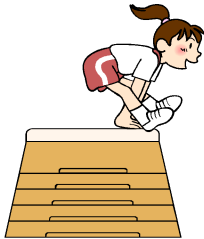
わたしが、2がっきがんばったことは、たいいくのとびばこです。

わたしは、とびばこをどうやったらじょうずにとびこえられるか、かんがえてみました。

そして、ふみきりのときは、「ドンッ」といたをけて、手をつくときは、「パンッ」といきおいよくつき、さいごは「ピタッ」とちやくちをすると、きれいにとぶことができました。

「ドンッ・パンッ・ピタッ」をいしきしながらいっぱいれんしゅうしました。そうすると、もっとじょうずにとびこられました。きれいにとべてすごうれしかったです。

2ねんせいになったら、もっとたかいだんにちょうせんしてみたいです。



2学きにがんばったこと

2年 野村 海心

わたしが、2学きにがんばったことは、とびばこです。体いくのじゅぎょうで、とびばこをやりはじめたときは、4だんしかとべませんでした。けれど、6だんまでとびたいというゆう気が出てきました。みんなのやり方を見て、どうやったら6だんをとべるのかをいろいろためして、5だんはとべるようになりました。あと1だんのところまでできましたが、6だんはなかなかとべませんでした。いっぱいれんしゅうしても、とべません。けれど、さい後の方では、やっとなとべるようになりました。うれしかったです。

また、いろいろできないことがあっても、あきらめずにやることを学べて、いいけいけんでした。これからも、ゆう気を出して、いろいろちょうせんしていきたいです。

がんばったよ！漢字・計算がんばり大会

3年 廣瀬 優歌

わたしが2学期にがんばったことは、漢字・計算がんばり大会です。1学期はおしくも、1問まちがえてしまい、98点でした。とてもくやしかったので、2学期は100点を取りたいと思い、当日に向けて、ほうか中や家でたくさんべん強しました。

わたしは、とくにかけ算の筆算のくりあがりの計算が苦手なので、気をつけながら、練習問題をときました。

けっかは、漢字100点、計算100点でした。もらったとき、うれしくて声が出そうになりました。べん強をして、そのけっかがちゃんとでたので、うれしかったです。

たくさんべん強していなかったら、1学期みたいにくやしい思いをしていたかもしれないので、きちんとべん強してよかったなと思います。

たくさんべん強したら、がんばり大会でけっかがでたので、がんばり大会だけでなく、他のこともべん強して、くやしい思いをしないようにがんばっていきたいです。



目標が決まった発表

4年 大森 美緒

私が、2学期にがんばったことは、3年生に向けての総合の発表です。

総合で、ふくしとは「ふだんの 暮らしのしあわせ」のことであると知りました。様々な障がいについて学び、その中で私は、認知症について発表しました。

タブレットで資料やげきの原こうなど、役わりを分けて発表の準備を行いました。そこで私はグループのリーダーをまかされました。だから、責任をもってみんなの役わりを決めたり、アドバイスをしたりしました。さらに班の仲間の意見をまとめて練習することもがんばりました。

発表の当日はとてもきんちょうしました。「成功するかな…」と不安な気持ちでいっぱいでしたが、班のみんなが声をかけてくれて「練習したとおりにやろう。」と前向きな気持ちになることができました。発表の最後には3年生のみんながはく手をしてくれて、とてもほっとしました。この経験から、次に発表するときは、「見ている人に笑って見てもらいたい。」という目標をたてることができました。



2学期頑張ったこと

6年 千葉 琥大郎

僕が2学期にがんばったことは、運動会のソーラン節です。ソーラン節は、乙川東小学校の伝統です。僕は、ソーラン節を成功させるために練習を頑張りました。そのときに考えたのは、「責任」という言葉です。

ソーラン節は、迫力を出すために大きな声を出さなければいけないので、声はいつもかれています。また、常に低い姿勢で踊らなければいけないので、正直つらいです。でも先生が、

「一人一人責任をもってソーラン節をおどってください」

と話してくれました。僕は、自分なりになぜソーラン節をがんばるのか、またどのような責任をもって踊るのかを考えました。6年生一人一人が最高学年の責任をもって練習に取り組み始めたので、声や動きに迫力が出てきました。

思い出に残った野外活動

なかよし2組 川島 蒼弥

ぼくは2学期にがんばったことがたくさんあります。その中のひとつが野外活動です。初めはめちゃくちゃ不安でした。家族とはなれてねることやキャンプファイヤーの司会の仕事、カレー作り、ふとんのシーツのたたみ方など心配なことばかりでした。でも、ひとつだけとてもうれしいことがありました。それは、いっしょのはんになりたかった友達と同じはんになれたことでした。まずそれだけでぼくの不安は半分になり、少し安心しました。

1学期の総合の時間には、キャンプファイヤーの司会の練習をしました。先生に手伝ってもらって、自分たちで言葉を考えて、大きな声で何回も練習しました。

夏休みには、家でカレーを作る練習を3回したり、しおりを何度も読んだりしました。当日は、不安いっぱいでも野外活動に行きました。キャンプファイヤーの司会は、みんなが見ていきんちょうしたけど、がんばってやれました。カレー作りもおふろも友達と協力できたから、楽しかったです。終わってみると、野外活動はとても楽しくてあつという間の二日間でした。こんなに楽しかったのは、友達がいてくれたからだと思います。

これからも不安なことがあると思いますが、やればできると信じてがんばっていきたいです。





12/9 鼓童演奏会(和太鼓)



11/24~26 3年生マルス見学



12/7 5年生しめ縄作り



12月 持久走(かけ足)大会



12/20・21 ストーリーテリング

2学期もたくさんの方のお力をかりて、子どもたちはいろいろな経験を積むことができました。
ありがとうございました。



1月に予定されていた「半田市音楽会」は、新型コロナウイルス感染防止のため今年は中止になりました。

お願い

小学生が、ゲームやSNSのトラブルに巻き込まれる事例が、半田市でもおこっています。
お子さんのゲームを通じた知らない人との会話や課金状況についてご存じですか。
また、ゲームで興奮しているとはいえ、日頃は使わないような暴言はありませんか。SNS上でどんなグループに入っているのでしょうか。
ゲームもSNSも子どもたちにとって魅力的なものです。
安全に使えるように、危険なことを知らせた上で使わせたいものです。
冬休みに、ご家庭でぜひ一緒に遊びながら、話してみてください。

